

## 第 168 回 記録管理学会例会のご案内

大会・例会担当理事 石井 幸雄

第 168 回例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き Zoom にて開催します。今回は、2020 年研究大会を補完する例会と位置づけ、九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の甲斐尚人さんに、技術継承に必要な暗黙知についてお話しいただき、参加される皆様との交流を通じて新たな知見を生み出す場になることを期待しています。

なお、研究発表については、学会誌『レコードマネジメント』79 号（2020 年 12 月 12 日発行）掲載されていますのでご一読ください。また、一部は一部は 80 号（2021 年 3 月下旬発行予定）に掲載される内容です。

### 《報告概要》

本発表では、鉄道車両の故障事例研究、他業種や米国のマニュアルの分析を通して、マニュアルで表現すべき暗黙知の伝達要素やそれを補助する役割をもつ図表の表現方法を明らかにした。

まず、鉄道車両の事故事例分析によって、暗黙知の伝達には若手技術者が備えるべき「気づき」と「誤った取扱いを推測する力」が必要であり、それらを補助する表現をマニュアル上で適切に表すことで暗黙知を顕在化させ、健全な技術継承が可能になることを示した。「気づき」について、『台車・輪軸（保守のポイント）』と東京ディズニーランドキャスト教育用マニュアル『Tips on Magic』とを比較することで、いかに読み手の注意を喚起させるかが重要であり、読み手に「気づき」を与え暗黙知を伝達するためのマニュアル上の適切な表現方法を明らかにした。また、マニュアル内の曖昧な説明文や図表が相互に補い合う関係になっていない状態が暗黙知の継承つまり「誤った取扱いを推測する力」を阻害している可能性があることを明らかにした。

つぎに、暗黙知の継承を阻害する図の表現の不十分さについて考察し、米軍のメンテナンスマニュアルである『War Department Technical Manual TM 5-9483』から暗黙知の優れた表現方法を得ることができた。また、世界的な店舗展開で成功を収めているマクドナルド社のマニュアルの分析も行い、米軍マニュアルとは異なるマニュアルの役割を明らかにした。

会員の皆様はもとより、本テーマにご関心がある方は奮ってご参加下さい。なお、今回は、議論を深めるため少人数で実施しますので、お申込みは先着 15 名様とさせていただきますのでご了承ください。

### 記

- テ ー マ 技術継承に必要な暗黙知に関する研究：鉄道車両の事故事例分析及び米国のマニュアル分析を通して
- 内 容 甲斐尚人氏(会員)による報告及び参加者とのディスカッション
- 開催日時 2021 年 3 月 13 日(土) 15:00～17:00
- 開催方法 オンライン方式(Zoom 形式)
- 主 催 記録管理学会：<http://www.rmsj.jp/>
- 後 援 ARMA 東京支部：<http://www.arma-tokyo.org/>
- 参加費 会員・非会員とも無料
- 要 申 込 e-mail：office\_ishii/atmarak/maia.eonet.ne.jp
- 問合せ先 お申し込み時に、ご芳名、ご所属をご記入ください。  
※メールの際は、/atmarak/を@に変更して送信をお願いします。
- 申込締切 2021 年 3 月 6 日(土)22:00、ただし、先着 15 名様とさせていただきます。  
ミーティング ID 及びパスコードは、3 月 7 日(日)、参加者全員にメールします。